

なすしおばら

広報

清流で涼む

溪谷アウトドア



9/5

平成26年9月5日号
2014.SEP No.233

写真:板室ダム湖カヌー体験ツアーを楽しむ親子

計画の目標

■大目標

都市機能の向上による持続可能な中心市街地くろいその再興

【小目標 1】快適な生活と滞在が可能な都市環境の形成
関連する主な施設整備…④、⑦

【小目標 2】地域資源を生かした商業空間の集積による街の
魅力向上とにぎわいの再生
関連する主な施設整備…⑧、⑨、⑩～⑭

【小目標 3】交通結節機能の強化と駅東西市街地の一体性の
確保
関連する主な施設整備…①、②、③、⑤、⑥

⑤黒磯駅西口駐輪場の整備

既存の駐輪場利用者の利便性の向上を図ります

⑥黒磯駅西口駐車場の整備

既存の駐車場利用者の利便性の向上を図ります

⑦駅前広場周辺道路の整備

西口駅前広場や図書館のアクセスポイントにふさわしい、景観に配慮した道路を整備します

⑧(仮称)まちなか交流センターの整備

駅前商店街のスーパー跡地などを有効活用し、センター内に本市の特産品の販売所やギャラリーなどを設け、まちの魅力の発信拠点、交流拠点として整備を行います



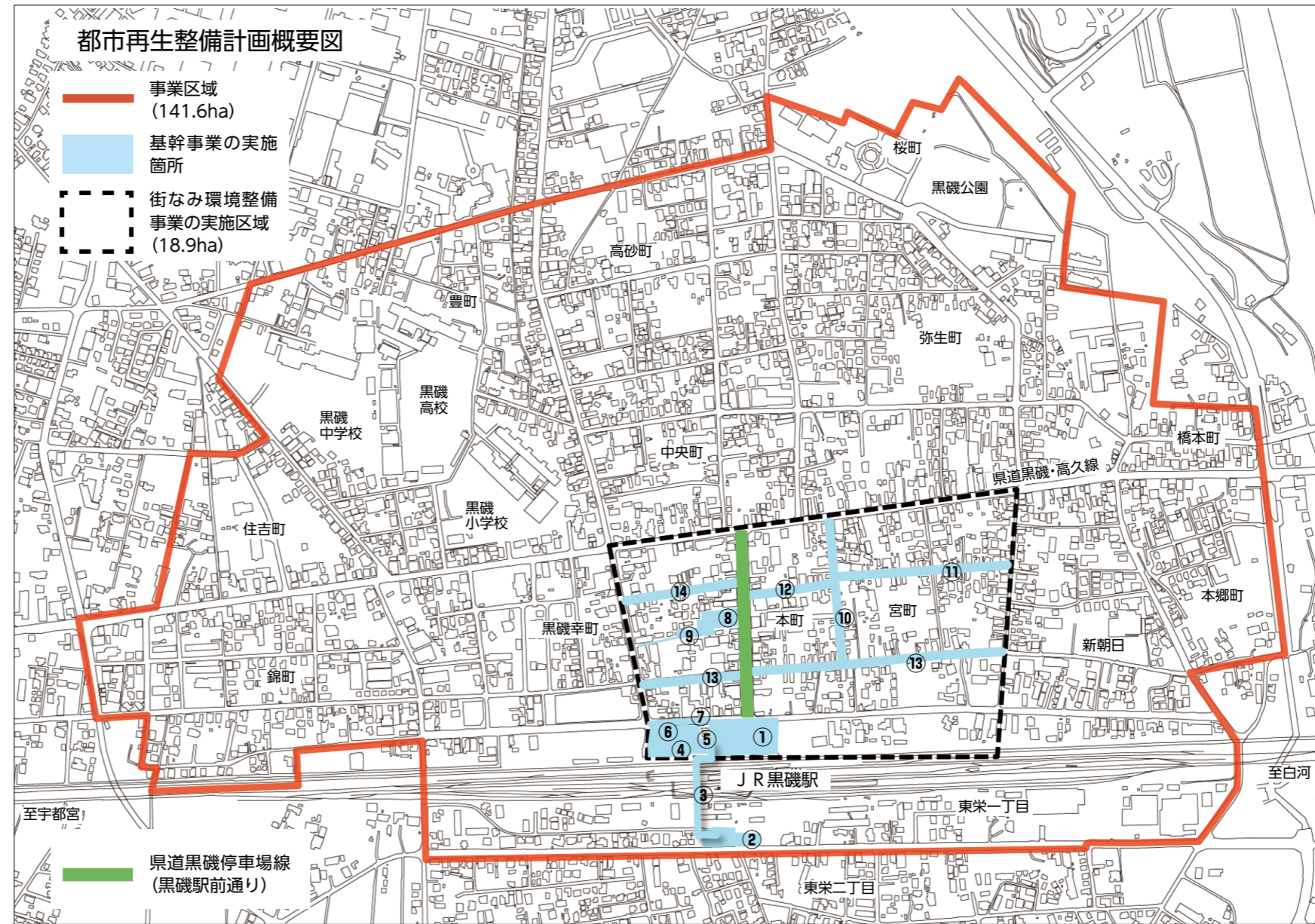
【(仮称) まちなか交流センターのイメージ】

⑨(仮称)まちなか交流広場の整備

隣接して整備を予定している交流センターの利用者が自由に利用し、黒磯駅周辺の周遊性を高めます。また、イベントなどの核会場として利用されることで、地域のコミュニティ形成や強化に寄与することも期待しています

⑩～⑭景観に配慮した道路舗装(道路の高質化)の整備

歩行空間の改善などのため道路改良や景観に配慮した周辺道路の整備を行い、周遊性と周辺環境の向上を図ります



整備予定の施設

①黒磯駅西口広場の整備

駅利用者の利便性向上のため、全ての人にとって使いやすいよう環境などに配慮した黒磯地区の顔にふさわしい広場に再整備します



【西口広場周辺のイメージ】

②黒磯駅東口広場の整備

未整備となっている東口広場を整備し交通結節機能を高め、東西市街地の一体性の向上を図ります

③黒磯駅東西連絡通路の改修

階段やクランクが多く不便な自由通路にエレベーターを設置することで、利用者の利便性向上と東西市街地の一体性の向上を図ります

④(仮称)駅前図書館の整備

駅前広場に隣接した市有地を有効活用し、図書館としてだけでなく、図書館利用者や観光客との交流の場、まちの魅力の発信拠点としての機能を持たせ、駅周辺の拠点性の向上を図ります



【(仮称)駅前図書館のイメージ】

交流 Kouryu

中心市街地「くろいそ」の再興へ

～黒磯駅周辺地区を平成30年度末までに整備～

黒磯駅周辺地区は、市内の中でも人口減少と高齢化が急速に進んでいます。このまま何も手を打たなければ、地区内の活気はさらに失われるとともに、コミュニティが衰退し、ひいては市全体の活気の喪失につながる懸念があります。

このような現状を打開するため、施設の整備を起爆剤として、行政と市民が一体となって黒磯駅周辺地区のにぎわいを創出するための第一歩が始まっています。

求められる都市構造の転換

これまで市では、那須塩原駅周辺で土地区画整理事業などのインフラ整備、西那須野駅周辺で、そすいスクエアA・Q・U・A・Sなどのにぎわいの拠点と道路整備などの事業を行い、良好な市街地環境の形成を図ってきました。

一方で市全体の都市構造は、大型店の出店や郊外での宅地開発の影響により、自動車に依存した郊外拡散型の都市構造となっています。

これからは、人口が減少に転じ、高齢化のさらなる進展が見込まれることから、市街地の低密度化(空き地・空き家の増加など)が一段と進み、日常生活に必要な医療、福祉、商業などの都市機能の喪失や市の財政状況の悪化などの事態も懸念される中、コンパクトなまちづくりの推進が強く求められています。

都市再生整備計画(黒磯駅周辺地区)を策定

黒磯駅周辺は、市内の中でも人口減少と高齢化が急速に進んでいる地区となっており、今後もこの状況は続いて

いくことが予想されます。このような中、この地区の都市機能を維持し継続していくには、これまでの取り組みだけでなく、人口減少を前提とした都市政策への転換が必要です。

このため、コンパクトで持続可能な都市構造に転換を図っていくために、国の地方都市リノベーション事業を活用し、地域の核である黒磯駅周辺を中心拠点区域に位置付けた都市再生整備計画(黒磯駅周辺地区)を平成26年3月に策定し、平成30年度末までに各種の施設を整備していくことを決定しました。

計画の概要

この計画では、都市機能向上させることでまちなかへの居住を促進し、集約型都市(徒歩や自転車でも暮らせるコンパクトなまち)として再構築を図ります。また、黒磯駅周辺地区は、那須地域を訪れる人たちの第一印象を決める街のシンボルであること、地域の交流の核となる場所であることから、本地区の個性を生かした街の魅力発信とコミュニティの再生を図り、行政と市民が一体となって駅周

施設整備と合わせて、さまざまな事業を展開

市は、施設整備と合わせて、事業区域(街なみ環境整備事業のみ駅前周辺)でさまざまな事業を展開し、黒磯駅前の活性化を図っていきます。

【街なみ環境整備事業】

既存の街なみを生かし良好な景観形成と街の魅力の再生を図ります。

【空き店舗活用事業】

空き店舗において新規事業者などに改修費の一部を助成します。

【イベント活動支援事業】

新たに行われる各種イベントへの支援を行います。

【原道黒磯停車場線(黒磯駅前通り)の再整備(具事業)】

県道黒磯停車場線の景観に配慮した再整備について、県により早期事業化の準備が進められています。

問い合わせ

黒磯市整備課
☎0287(62)7160



↑現在の黒磯駅西口。黒磯の顔にふさわしい交流拠点として、西口広場の再整備とともに隣接して（仮称）駅前図書館を整備予定



↑現在の黒磯駅前商店街。にぎわいの創出やコミュニティの強化に向けて、さまざまな事業を展開していきます



↑スーパー跡地を活用し、（仮称）まちなか交流センターと（仮称）まちなか交流広場を整備予定

■黒磯駅前及び周辺地域活性化懇談会

黒磯駅前を拠点とした黒磯地区全体の活性化を図るためには、板室温泉や戸田・青木地区などの周辺地域を含め、明確なコンセプトのもとに戦略的な事業の展開が必要になります。

このため市では、平成26年1月に、都市再生整備計画事業による黒磯駅前周辺の施設整備に合わせ、一体感をもって黒磯地区全体の活性化を図ることを目的として、地元の経済団体などの代表者8人と、大学教授ら4人の外部有識者を委員に委嘱し、「黒磯駅前及び周辺地域活性化懇談会」を設置しました。

同懇談会は、1月から8月にかけて、計5回開催。「地域資源や観光資源を生かしたブラン



↑4月に市内の現地視察を実施。まちづくりについて議論を重ねる

ドイメーシの構築」「新設する施設のイメージの構築」「誘客に向けたにぎわいの創出」「周遊性の向上」などについて議論を重ね、これらの方向性をまとめた報告書を10月末までに市に提出する予定です。

今後、市では、提出される報告書の内容を踏まえて、都市再生整備計画や周辺地域の事業に反映させていきます。



↑活発に意見が飛び交うワークショップ

会では、駅前の空き店舗を地域のコミュニティの活動拠点、街を訪れる人の案内や休憩場所として「カワツタ家」に再生。また、今や夏至と冬至の風物詩となっている「キャンドルナイト」や夏の「もったいない市」、春先の「青空市」など四季を通じてイベントを開催しています。

こうした地域住民による積極的な活動という素地がある中、この地域を盛り上げようとがんばる人やそこに暮らす人たちの思いや意見を聴き、黒磯駅周辺地区の活性化や予定されている都市再生整備計画の各種事業にその意見を反映させていくため、今年7月に「えきつぶくろいそ」を設置し、ワークショップを始めました。

「えきつぶくろいそ」はフランス語でチームを意味し、メンバーは、黒磯駅前活性化委員会をはじめ、地元商店会、市商工会や黒磯那須青年会議所などの関係者や推薦された人など92人。さまざまな職種が集まるチームです。その中で、自分たちが考える黒磯駅前のあり方や新設する施設の中身などについて話し合いを進めています。

■えきつぶくろいそ

計画の目標実現へ 中心市街地「くろいそ」再興の鍵は 「対話」と「地域コミュニティの強化」

黒磯駅周辺地区に施設を整備するだけで、都市再生整備計画の大目標である「都市機能の向上による持続可能な中心市街地くろいその再興」は実現できません。目標の実現のために、まず必要となるのは「対話」です。地域住民と話し合いを行い、計画に対する理解を深めてもらい、さまざまな思いや意見を集約することはもちろん、外部有識者らの意見も集約し、反映させていくことで、この計画がより実効性のあるものになると考えています。また、市民の意見を反映することは、この計画や関連事業に市民自らが主体的に関わることに繋がります。そうすることで、いわゆる箱モノではない自分たちの施設として有効利用され、さらに施設を拠点として交流が深まり「地域コミュニティの強化」が図られることが期待でき、整備する施設が、にぎわいのある中心市街地くろいその顔として、その機能を果たしていくことになるはず。このため市では、5ページのとおり体制を整え、多くの皆さんの意見を聴き、計画を進めていきます。

■（仮称）黒磯本通りまちなみ協議会

黒磯駅前通り（黒磯本通り）の周辺には昭和初期の建物や石塀など歴史的価値の高い建物が散在しています。しかし、アーケードの老朽化などにより建物の良さを生かしきれない面があります。この問題を解決し、美しい景観や良好な居住環境を作っていくために「街なみ環境整備事業」を実施します。

平成26年度は、これからの地区内の景観のあり方やまちづくりについての啓発、検討を行うため、本町、宮町に住む人々をメンバーの中心とした「（仮称）黒磯本通りまちなみ協議会」を設置する予定です。

この事業では、同協議会を中心に地域の皆さんと協力して、アーケードの撤去や建物などの修景整備（景観に配慮した外観への改修など）を行い、統一のとれた街なみを形成することで、「訪れたい街」「歩くと楽しくなる」、そんな新たな街の魅力を生み出すことを目指しています。



↑アーケードの撤去や修景整備を行った後の、黒磯駅前通りのイメージ。趣のある美しい景観を備えています

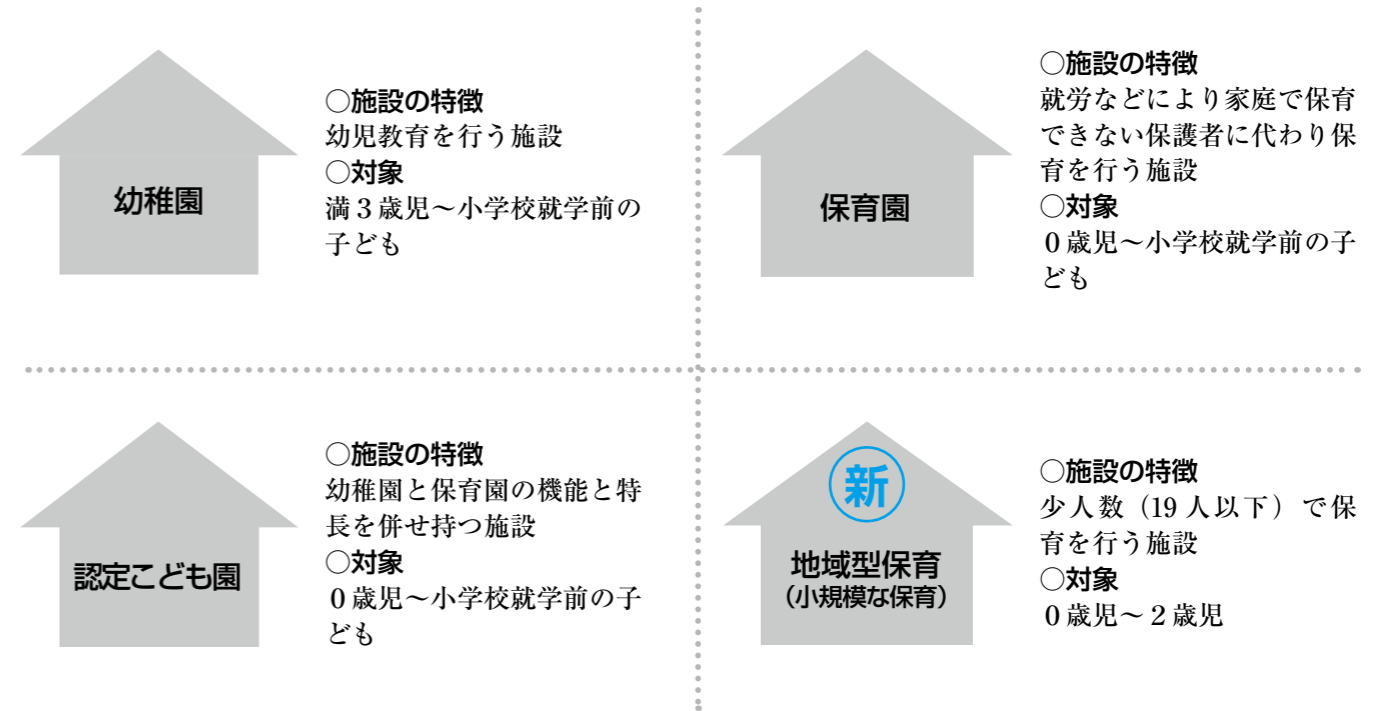
子ども・子育て支援の制度が変わります

平成27年4月1日から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。新制度のスタートに伴い、従来の保育園や幼稚園に加えて新しく利用できる施設の種類が増え、それぞれの施設への申し込み手続きが変わります。
問い合わせ ☎子ども課 ☎0287(62)7042

新しく入園申し込みを希望する人へ

●利用できる施設の種類

利用できる施設は、次の4種類となります。



●認定の種類

施設を利用する際は、入園申し込みと併せて、市から認定を受ける必要があります。これを「支給認定」といいます。認定には3つの種類があり、それぞれ利用できる施設が決まっています。

認定区分	対象となる子ども	利用できる施設
1号認定	満3歳以上で、教育のみを必要とする子ども	幼稚園、認定こども園
2号認定	満3歳以上で、保育を必要とする子ども	保育園、認定こども園
3号認定	満3歳未満で、保育を必要とする子ども	保育園、認定こども園、地域型保育

●保育を必要とする事由（「保育の必要性」の理由）

2号・3号認定を受けるためには、次の保育を必要とする事由のいずれかに該当する必要があります。

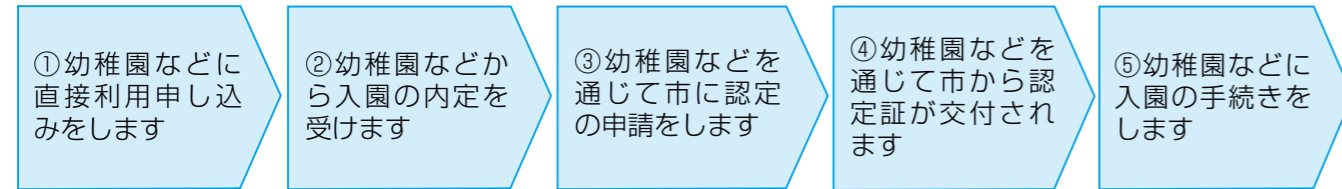
- ①月48時間以上の就労
- ⑤災害復旧
- ②産前産後
- ⑥求職活動中
- ③保護者の疾病・負傷・障害
- ⑦就学・職業訓練
- ④同居親族の介護
- ⑧児童虐待やDV

※すでに施設を利用している子どもについては、下の子どもの育児休業に入っても下の子どもが1歳になる日の属する年度末までは①～⑧までの理由がなくても施設を利用できます。

●申し込み手続き

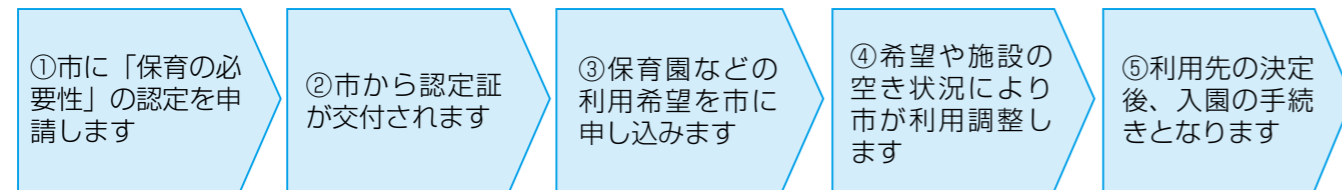
希望する子どもの認定区分によって、申し込み手続きが異なります。

○1号認定を希望する場合（幼稚園、認定こども園）



※幼稚園のうち、新制度の仕組みに移らない園への申し込みについては、支給認定の手続き（③と④）は不要です。

○2号・3号認定を希望する場合（保育園、認定こども園、地域型保育）



※2号・3号認定を希望する場合は、①認定申請と③利用申し込みを、同時に行うことになります。

●申し込みに必要な書類

申し込みに必要な書類は9月から配布しています。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。

認定区分	申し込みに必要な書類	書類様式の配布場所
1号認定	入園申込書	各幼稚園、認定こども園
2号・3号認定	入園申込書、保育を必要とする事由を証明する書類(事由によって必要書類が異なります)	☎子ども課、☎市民福祉課、☎総務福祉課、☎根拠出張所、市内公立保育園

※平成26年1月1日に那須塩原市に住民登録がない人は、平成26年度課税（非課税）証明書または住民税決定通知書が必要です。平成26年1月1日に住民登録があった市区町村から取り寄せて、入園申込書などと一緒に提出してください。

●申込期間と申込場所

認定区分	申込期間	申込場所
1号認定	9月1日(月)～	各幼稚園、認定こども園
2号・3号認定	10月1日(水)～31日(金)	☎子ども課、☎市民福祉課、☎総務福祉課、☎根拠出張所、市内公立保育園

●保育料

○新制度における各施設の保育料…原則、市が設定します

○金額…現行の保育料を基準として、保護者の所得に応じた金額を設定する予定です

※正式な金額は来年3月に決定しますが、利用申し込みの時期に合わせて、大まかなイメージを市ホームページなどでお知らせする予定です。

○幼稚園のうち新制度の仕組みに移らない園の保育料…これまでどおり幼稚園が設定します

○その他…新制度に移らない幼稚園を利用する場合、現在の幼稚園就園奨励費補助金の制度を利用することができます。

幼稚園就園奨励費補助金とは、保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の普及を図ることを目的として、保育料減免のための補助金を交付するものです。

補助金は、満3歳になった月から対象になり、補助金の金額は、家庭の所得の状況や子どもの人数に応じて決まります。

●西那須野地区

区分	保育園名	所在地	☎(0287)	保育年齢	開園時間	土曜保育	募集予定人数
公立	永田	下永田4-1341	(36)4649	生後10カ月～	午前7時30分～午後6時30分	午前7時30分～午後6時30分	30人
	三島	三島4-30	(36)3980	生後5カ月～	午前7時30分～午後7時15分	午前7時30分～午後7時15分	10人
	南	一区町287	(37)0987	//	//	//	20人
私立	ほし	東赤田343-158	(37)0614	生後2カ月～	午前7時15分～午後7時15分	午前7時15分～午後6時15分	25人
	東	南郷屋2-149	(36)0447	//	午前7時30分～午後7時15分	午前7時30分～午後7時15分	21人
	西	四区町662	(36)2483	生後10カ月～	//	//	22人
	こひつじ	西大和6-5	(36)5033	//	午前7時15分～午後7時15分	午前7時15分～午後6時15分	16人

●塩原地区

区分	保育園名	所在地	☎(0287)	保育年齢	開園時間	土曜保育	募集予定人数
公立	大貫	上大貫2077-7	(35)2808	生後3カ月～	午前7時30分～午後6時30分	午前7時30分～午後6時30分	10人
私立	塩原	塩原2541	(32)2360	生後2カ月～	//	//	13人
	ひまわり	関谷1173-1	(35)2226	//	//	//	12人

●注意事項

- ・保育園以外に、保育を必要とする子ども預かることができる施設として、認定こども園および地域型保育（小規模な保育施設）があります
- ・既存の幼稚園の中には、認定こども園への移行を予定している施設があります
- ・既存の認可外保育施設の中には、地域型保育への移行を予定している施設があります
- ・認定こども園または地域型保育へ移行する施設の詳細については、☎子ども課または各施設へ問い合わせてください

新制度に関する説明会を開催します

平成27年度に幼稚園、保育園、認定こども園、地域型保育への入園を希望している人向けに、入園申し込みについての説明会を開催します。

なお、対象者には8月下旬に案内の通知を郵送しています。

とき	ところ
9月16日(火) 午前10時～	いきいきふれあいセンター3階 多目的ホール
9月17日(水) 午前10時～	三島ホール

※説明会の時間は2時間程度を予定しています。



公立塩原幼稚園の利用を希望する人へ

- 入園対象 平成21年4月2日～平成24年4月1日生まれで、市内に住民登録のある子ども ※満3歳になれば年度途中からの入園も相談に応じますので、問い合わせてください。
- 申込方法 塩原幼稚園にある願書に記入し、直接申し込んでください
- 申込期間 10月1日(水)～31日(金)
- 開園時間 月～金曜、午前9時～午後3時
- その他 塩原幼稚園は、現在、認定こども園への移行について保護者や地域の皆さんと協議をしているため、今後、認定こども園へ移行する可能性があります



現在施設を利用している人へ

現在施設を利用している子どもについても、支給認定の申請が必要になります。申請書の提出および認定証の交付は、現在利用している施設を通じて行います。支給認定手続きの内容は、後日施設を通して市から案内します。



平成27年度の各保育園の保育実施状況

●黒磯地区

区分	保育園名	所在地	☎(0287)	保育年齢	開園時間	土曜保育	募集予定人数
公立	さくら	桜町1-9	(62)0369	生後3カ月～	午前7時30分～午後7時15分	午前7時30分～午後6時30分	10人
	ひがしなす	東小屋189	(65)3716	生後8カ月～	//	//	20人
	たかはやし	箭坪353-14	(68)0025	//	午前7時30分～午後6時30分	//	30人
	なべかけ	鍋掛539	(62)2251	//	//	//	10人
	わかば	若葉町9-21	(62)2123	//	//	//	15人
	とようら	東豊浦18	(63)2773	//	//	//	30人
	いなむら	埼玉6-1165	(63)4721	生後3カ月～	//	//	15人
	さきたま	埼玉100	(63)7153	//	//	//	25人
私立	友里かご	豊浦12-209	(62)1116	生後2カ月～	午前7時～午後8時	午前7時～午後7時	12人
	ひばりヶ丘	埼玉370-5	(64)0425	生後5カ月～	午前7時30分～午後7時30分	午前7時30分～午後6時30分	23人
	コメット	黒磯6-44	(60)4150	生後2カ月～	午前7時～午後7時30分	午前7時～午後6時	19人
	ゆたか	新緑町92-280	(63)8282	生後3カ月～	午前7時30分～午後7時15分	午前7時30分～午後6時30分	43人

こころのストレスを簡単チェック

～9月10日～9月16日は自殺予防週間です～

こころの体温計 ためしてみませんか? 携帯・スマホはこちらから

最近、眠れない、いつもイライラする……。そんな心のストレスや落ち込み度が「こころの体温計」で簡単にチェックできます。

パソコンはこちらからご利用いただけます。▶ <https://fishbowlindex.jp/nasushioba/>

本人モード ストレス度・落ち込み度が分かります。
質問に答えると、ストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。

家族モード あなたの大切な方の心の健康状態が分かります。

赤ちゃんママモード 産後の不安な心の健康状態が分かります。

アルコールチェックモード 飲酒が心にどのような影響を与えているのが分かります。

ストレス対処タイプテスト あなたのストレス解消法はどのタイプ?

猫 社会的なストレス
水槽のヒビ 住環境のストレス
黒金魚 対人関係のストレス
赤金魚 自分自身のストレス
水の透明度 落ち込み度
石 その他のストレス

本人モード 結果画面(例)

市では自殺予防対策の一環として「こころの体温計」(メンタルヘルスチェックシステム)のサービスを実施しています。5つのモードからなるメンタルヘルスチェック機能をこころのケアに役立ててください。

使い方は簡単。携帯電話やパソコンでホームページアドレスを入力、または携帯電話でQRコードを読み取って「こころの体温計」にアクセスしてください。
※氏名や住所などの個人情報情報は不要です。
※費用は無料ですが、通信料は自己負担となります。

こころの相談

～一人で悩まないで、まずは相談してみませんか?～
～周りに悩んでいる人がいたら、教えてあげましょう～

日本カウンセリング学会認定カウンセラーによる「こころの相談」を毎月2回実施しています。「こころの相談」は予約制です。日程や会場など、詳しくは問い合わせください。

問い合わせ 社会福祉課 ☎0287(62)7026

来年小学校に入学予定の子どもの

就学時健康診断を実施します

この健康診断は、就学予定の子どもの心身の状況を把握し保健上必要な助言などを行うことを目的としていますので必ず受診してください。(対象者には9月中旬に関係書類を郵送します)

なお、当日は子どもが健診を受けている間に子どもとの接し方などを話し合うワークショップ「親学習講座」が開講されます。こちらにもぜひ参加してください。

また、指定の日程で都合が悪い場合には、他の会場でも受診できますので事前に連絡してください。

問い合わせ 学校教育課 ☎0287(37)5289

実施日	入学予定学校	会場
10月1日(水)	西小学校	西小学校
10月7日(火)	東原小学校	東原小学校
10月8日(水)	東小学校	東小学校
10月9日(木)	鍋掛小学校	鍋掛小学校
10月20日(月)	黒磯小学校	黒磯小学校
10月21日(火)	共英小学校	共英小学校
10月22日(水)	槻沢小学校	槻沢小学校
10月29日(水)	稲村小学校	稲村小学校
11月5日(水)	三島小学校	三島小学校
11月11日(火)	高林小学校 青木小学校	高林小学校

実施日	入学予定学校	会場
11月12日(水)	南小学校	南小学校
11月18日(火)	大原間小学校 波立小学校	大原間小学校
11月19日(水)	豊浦小学校	豊浦小学校
11月21日(金)	大山小学校	大山小学校
11月25日(火)	関谷小学校 金沢小学校 大貫小学校 横林小学校 塩原小学校	西那須野保健センター
11月28日(金)	埼玉小学校	埼玉小学校

「体育の日」にあわせて体育施設を無料開放します

とき 10月13日(祝月) 対象 市民

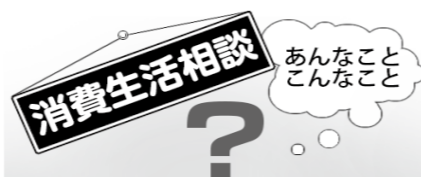
開放時間 1施設につき最大2時間(プールは除く) ※当日施設が空いている場合には、延長して利用可能。

申込開始日 9月22日(月) (事前に各施設に問い合わせをしてから、利用してください)

その他 夜間照明使用料は有料です

問い合わせ スポーツ振興課 ☎0287(37)5439

施設名	開放時間	問い合わせ
くろいそ運動場	補助球場 午前8時30分～午後5時 体育館・武道館 午前8時30分～午後9時30分 その他の施設 午前8時30分～午後9時	くろいそ運動場 ☎0287(60)1113
那珂川河畔運動公園	各施設 午前8時30分～午後5時	
青木サッカー場	体育館 午前8時30分～午後9時30分 グラウンドA・B 午前8時30分～午後5時 グラウンドC 午前8時30分～午後9時30分	青木サッカー場 ☎0287(60)5058
にしなすの運動公園	多目的運動広場 午前8時30分～午後5時 体育館 午前8時30分～午後9時30分 プール 午前9時30分～午後8時30分 ※プールは午後0時30分～1時30分、午後4時30分～5時30分に休憩があります。	にしなすの運動公園 ☎0287(36)4785
三島体育センター	グラウンド・テニスコート 午前8時30分～午後9時 その他の施設 午前8時30分～午後9時30分	三島体育センター ☎0287(36)4787
塩原B&G海洋センター	体育館 午前8時30分～午後9時30分 プール 午後1時～8時 ※プールは、午後4時～5時に休憩があります。	塩原B&G海洋センター ☎0287(32)5255
関谷南公園	関谷南公園野球場 午前8時30分～午後9時	
塩原運動公園	その他の施設 午前8時30分～午後5時	



今月のテーマ

「インターネットトラブルに注意！」

インターネットネットトラブルに巻き込まれたという相談が増えています。

事例

○偽セキュリティソフト ネット検索中、突然警告表示が現れ、ウイルス対策ソフトの案内が画面に出たので、慌ててクレジット番号を入れて契約してしまった。

○ワンクリック詐欺

芸能サイトを閲覧していたら、アタルトサイトに飛んだ。表示に従って「18歳以上」をクリックしたら、10万円を請求する画面になった。

○出会い系サイト

「友達になってくれたら1千万円差上げます」と言ってきた相手を信じてメールをやり取りし、サイト利用料金が30万円を超えた。

対策

○架空請求

「情報コンテンツ料が未納になっている。連絡なき場合は法的手続きをとる」というメールが携帯電話に届いたが、利用した覚えがない。

○ウイルス対策ソフトを導入する

未納料金の請求が来たからと、慌てて相手に連絡して、自ら個人情報を与えてはいけません。

○怪しいホームページやメールに注意する

迷惑メール、掲示板などのリンク、不審メールの添付ファイルなどが悪質ホームページなどへの誘導に使われています。

困った時は消費生活センターに相談してください。

消費生活センター
(いきいきふれあいセンター内)
☎0287(63)7900
開設時間 平日午前8時30分～午後5時



問い合わせ
秘書課
 ☎ 0287(62)7109



そすいスクエア AQUAS は、平成21年に中心市街地の活性化を目的として、国・県・市の補助金を受け、西那須野地区(西大和)に誕生した複合施設です。
 今回は、施設の全体の雰囲気と1階アトリウム中心にある「アクアスひろば」を紹介していきます。



吹き抜けで解放感があるアクアスひろば

注目!

「アクアスひろば」は、地域の皆さんに気軽に利用していただける体感・参加型スペースです。子どもから高齢者まで楽しめるイベントや憩いの場として活用されています。また、ひろば内にはスタジ

オもあり、インターネットラジオ・テレビを通して地域密着の情報を発信しています。



スタジオからは、楽しく地域情報を得られる番組を発信しています

このまちのわくわく時間が集まる場所をチェック!

チエック①
 施設内には、雑貨屋やおもちゃ屋など、さまざまなコンセプトをテーマとした店舗がありました。見ているだけで



個性あふれる店舗の数々。お気に入りの店が見つかるかも!?

わくわくしてきます。ちなみにテナント募集中のことです。

チエック②
 土・日曜を利用してユニークで活気あるさまざまなイベントを開催しています。「ミニ四駆大会」などの趣味を主としたイベントや季節に応じたイベントなども開催されます。

チエック③
 管理者の高橋さんは、「来てくれた人に少しでも楽しんでもらいたい」との気持ちから、四季折々の展示・演出をアクアスひろばで行っています。随所に見られる演出は、見ているだけで楽しくホッとする空間です。子どもから高齢者まで楽しめますよ。



取材に行った7月には、手作りの吹き流しが飾られていました

◆執筆
 まちかど通信員 若倉 健

お知らせ

新しい国民健康保険証を郵送します

国民健康保険証が毎年10月1日に更新されることに伴い、10月1日から使用する新しい保険証を9月下旬に郵送します。

▼注意事項

- 新しい保険証は薄紫色です。保険証に記載されている住所などの内容に間違いがないか、国民健康保険に加入している人全員の保険証があるかなどを確認してください(保険証は1人につき1枚で、氏名欄に記載された名前の人がその保険証を使用できます)
- 世帯主名は、世帯主が国民健康保険に加入していない場合でも記載されます
- 使用期限が切れた保険証は、10月以降に次の窓口か帯根出張所に返却してください

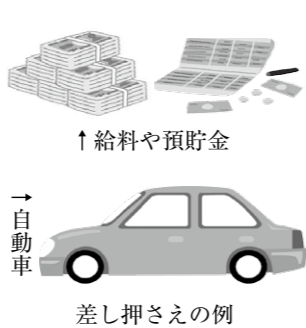
▼問い合わせ

- 本国保年金課**
 ☎ (62) 7129
- 国市民福祉課**
 ☎ (37) 5103
- 国総務福祉課**
 ☎ (32) 2988

自動車税の納付を忘れていませんか

大田原県税事務所では、自動車税滞納者に対する滞納処分(差し押さえ)を強化しています。

まだ自動車税を納めていない人は、至急納付してください。諸事情により納付できない人は、必ず県税事務所まで連絡の上、納税相談してください。



▼問い合わせ
県大田原県税事務所
 ☎ 0287 (23) 4171

市有墓地の利用者を探しています

次の市有墓地について、使用者が不明となっている区画の調査を行っています。該当する区画には看板を設置していますので、区画の利用者、または利用者などにつ

屋外広告物を表示する場合は許可が必要です

栃木県屋外広告物条例に基づき、屋外に表示する広告物の設置には市の許可が必要です。(10㎡以内の敷地内広告物などは除く)

広告物の種類や表示する地域により、許可の基準(表示面積や色彩など)が異なりますので、広告物を表示する場合は事前に**都市計画課**の窓口で基準を確認してください。違反広告物を設置した場合は、除却の命令を受けることや、罰金に処されること



該当区画に設置された看板。情報の提供をお待ちしています

▼問い合わせ
環境管理課
 ☎ (62) 7142

秋の交通安全市民総ぐるみ運動を実施します

9月21日から30日まで「秋の交通安全市民総ぐるみ運動」を実施します。

▼運動の内容 子どもと高齢者の交通事故防止

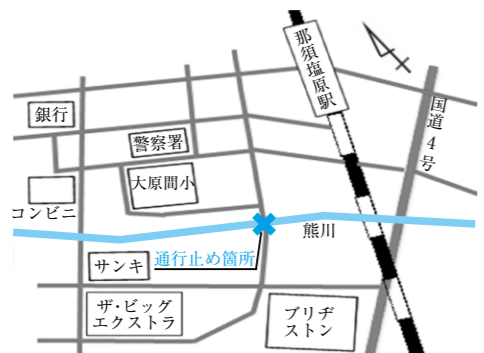
- ①「子どもや高齢者に優しい3S運動」の推進
- ・SEE(子どもや高齢者をいち早く発見する)
- ・SLOW(子どもや高齢者を見たら減速する)
- ・STOP(危険を感じたらすぐに停止する)
- ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車運転中の交通事故防止(特に、反射材用品などの着用の推進と自転車前照灯の点灯の徹底)
- ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶

▼問い合わせ
民生課
 ☎ (62) 7127

橋の架け替え工事をを行います

県大田原土木事務所では、大雨などの被害に備え、一般河川である熊川の改修工事を行っています。この工事に伴い、学校橋の架け替え工事を実施するため、使用ができなくなります。

工事期間中は、仮設の歩道を設置し、車両は通行止めになりますので協力をお願いします。
 ▼工事期間 10月1日〜来年秋ごろ



▼問い合わせ
県大田原土木事務所
 ☎ 0287 (23) 6545
本道路課
 ☎ (62) 7166

食品の放射性物質簡易検査結果(平成26年7月分)

7月に実施した78件の検査結果を公表します。この検査は、市民の不安解消を目的に、市が独自に実施している簡易検査です。検査結果については参考としてください。

【参考】厚生労働省が定めた一般食品の放射性セシウムの基準値は100Bq/kgです。

Table with columns: 検体名, 検査件数, 最小値(Bq/kg), 最大値(Bq/kg), and 検査結果(件数) sub-columns: 不検出, 50Bq未満, 50~100Bq, 100Bq超.

※100Bq/kgを超えたものは、全て購入品以外でした。

【検査結果の注意点】

- 1. 検査結果は、1kg当たりのセシウム134とセシウム137の合算値で集計しています。ただし、セシウム134とセシウム137のうち、片方のみが検出されている場合もあります。
2. 「不検出」とは、検出限界未満のことであり、検出限界はセシウム134とセシウム137の合計で25Bq/kg以下を目安にしています。
3. 検査に使用した簡易測定器は、日立アロカメディカル(株)食品放射能測定システム「CAN-OSP-NAI」です。
4. 市外で採取した検体も含まれます。

問い合わせ 生活課 ☎(62)7126

知っていますか

障害年金

障害のある人のうち次の要件を満たす人は、国民年金・厚生年金保険の障害基礎年金・厚生年金を受給できます。
▼支給要件 次の3つの要件を満たす人
①年金制度加入中に初診日があること
※初診日とは、障害の原因となった傷病について、初めて医師の診療を受けた日です。
※初診日が年金未加入期間中(20歳未満または60~65歳)の人は障害基礎年金のみが支給対象。
②障害認定日(初診日から1年6カ月経過した日または障害が固定したとみなされる日)において、一定の障害状態にあること
③次のいずれかの保険料納付要件を満たしていること
・初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までに被保険者期間があり、そのうち保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が3分の2以上であること
・初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの1年間に保険料の滞納がないこと

年金額(障害基礎年金)

○1級 96万6000円
○2級 77万2800円
※障害厚生年金の年金額は、厚生年金期間加入中の報酬額と加入期間で算出されます。
※配偶者や子どもがいるときは、これらの金額に一定額が加算される場合があります。
▼申請方法 年金の納付要件や病歴の確認などが必要となりますので、まずは問い合わせてください。
○初診日が国民年金加入期間または年金未加入期間中の場合:市役所
○初診日が厚生年金加入期間の場合:年金事務所
▼その他 障害者手帳と障害年金の等級判断基準が異なるため、障害者手帳の交付を受けていても障害年金が受給できない場合があります
▼問い合わせ
大田原年金事務所 ☎0287(22)6311
本県保年金課 ☎(62)7129
市民福祉課 ☎(37)5103
塩原福祉課 ☎(32)2988

くろいそ運動場テニスコートをリニューアルオープンしました

くろいそ運動場のテニスコートがスポーツ振興くじ助成金を受けて、砂入り人工芝に改修されました。9月から一般利用できるようになりましたので、皆さんの利用をお待ちしています。

▼使用時間 午前8時30分~午後9時
▼1時間あたりの使用料(一面)
○市民 200円
○市外 600円



人工芝でプレーできます

▼問い合わせ
スポーツ振興課 ☎(37)5439
くろいそ運動場 ☎(60)1113

黒磯駅前商店街で撮影したNHKドラマが放映されます

5月31日に那須地域を舞台にしたドラマ「ライド ライド ライド」の撮影が黒磯駅前商店街で行われ、たくさんの方がエキストラで出演しました。

このドラマは、那須の風の中にそれぞれの答えを探し、前を向こうとする者たちの物語です。主役俳優の瀬戸康史さんがプロロードレースチームの経営を立て直す地元信用金庫の職員に扮し、撮影が行われました。
▼放映日 9月24日(水)午後10時~(NHKBSプレミアム)



黒磯駅前商店街でのロケ

▼問い合わせ
シティプロモーション室(企画情報課内) ☎(62)7128

自動交付機が一時的に利用できなくなります

庁舎電気設備点検のため、本庁舎と西那須野支所に設置してある自動交付機が利用できなくなります。

▼とき 9月15日(月)午前8時30分~午後1時(予定)

市民課

市民福祉課 ☎(62)7132
市民福祉課 ☎(37)5102

募集

高齢者向け優良賃貸住宅の入居者募集

60歳以上の人の暮らしやすさを考慮した賃貸住宅の入居者を募集します。

▼対象物件 レクラン那須塩原(黒磯652・1)
▼入居者負担額 2万3千円~4万3千円(所得で決定)
※このほか、共益費、緊急サービス料などの負担あり。
▼間取り ワンルーム
▼申込期間 随時
▼申し込み・問い合わせ 県住宅供給公社 ☎028(622)0461

学校で働く生活支援員を募集します

市では、10月1日から市内の小学校で勤務する生活支援員を募集します。

- ▼対象 おおむね20〜50歳までの人(教員免許状の有無は問いません)
▼勤務内容 児童の学校生活の支援
▼勤務時間・日数 1日あたり5時間45分で週5日間程度
※長期休業期間中の勤務はありません。

- ▼雇用期間 10月〜来年3月
▼賃金 時給1000円
▼諸手当 勤務先まで片道2km以上の場合、通勤手当を支給(上限あり)
▼定員 若干名
▼選考方法
○1次選考(書類審査)
○2次選考(面接)

- ▼申込方法 市ホームページ・国学校教育課窓口で配布する指定の履歴書で申し込み
▼申込期限 9月19日(金)
▼申し込み・問い合わせ 国学校教育課
☎(37)5289



男女共同参画推進事業者表彰の募集

男女共同参画社会の実現を目指すため、男女共同参画推進に積極的に取り組む事業者を募集し、表彰します。

- ▼対象 市内に事務所または事業所を有する事業者
▼表彰基準 次の取り組みを積極的に進めている事業者
○性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大のための取り組み
○仕事と家庭生活、そのほかの活動との両立を支援するための取り組み
○男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい職場の環境整備のための取り組み
○そのほか、男女がともに参画できる社会づくりに向けた取り組み

- ▼申込方法 国市民協働推進課の窓口にある応募用紙と事業者の概要・取組内容などが分かる資料を添えて申し込み
※応募用紙は市ホームページからもダウンロード可能。
▼申込期間 9月16日(火)〜10月16日(木)(必着)
▼申し込み・問い合わせ 国市民協働推進課
☎(62)7019

研修・教室・講座

講演 海は大きな水洗トイレ

海には不思議な生き物がたくさんいます。変わった形をしていたり、口がお腹の下についていたり…。体の形の進化に触れながら、海の生き物について楽しい話を聞くことができます。

- ▼とき 9月27日(土)午後2時〜3時
▼ところ 黒磯図書館
▼対象 小学4年生以上の市民
▼定員 30人
▼講師 新川哲人氏(県立博物館自然課主任)
▼参加費 無料
▼申込期限 9月13日(土)
▼申し込み・問い合わせ 黒磯図書館
☎(63)9031



平成26年度 黒磯市町村総合事務組合職員採用試験

平成26年度黒磯市町村総合事務組合職員採用試験を次のとおり実施します。

- ▼職種・採用予定人員 一般事務 若干名
▼受験資格 昭和60年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人
▼日程
○第1次試験 11月9日(日)
○第2次試験 12月上旬(第1次試験日にお知らせします)
▼試験会場 県自治会館
▼試験内容
○第1次試験：教養試験(高等学校卒業程度)・適応性検査
○第2次試験：作文試験・口述試験

- ▼申込方法 黒磯市町村総合事務組合の窓口で配布している申込書に必要事項を記入し提出
※申込書は黒磯市町村総合事務組合ホームページからもダウンロード可能。
※郵送希望の人は、返信用封筒(角2型、120円切手貼付、宛先明記)を同封し、「申込書希望」と記入し、請求してください。
▼申込期間 10月6日(月)〜17日(土・日曜、祝日を除く)
▼問い合わせ 黒磯市町村総合事務組合総務課
☎320・0032
宇都宮市昭和1・2・16(県自治会館2階)
☎028(625)3011

黒磯・板室温泉 写真コンテスト 作品募集

旧黒磯市・板室温泉周辺の風景、名所旧跡、イベントなどを題材にした観光写真を募集します。

- ▼応募規定
○4つ切りサイズ(ワイド可)のカラープリント
○ネガやポジフィルムなどでの応募は受け付けできません
○旧黒磯市・板室温泉地区にて本人が撮影した未発表の作品に限りです
○入賞は原則として1人1賞
○写真の著作権は応募者に属しますが、黒磯観光協会が必要とする場合に、無償で使用することに同意いただけることを条件とします



過去の作品(板室温泉の紅葉)

- ▼問い合わせ ☎325・8501 共聖社108・2 黒磯観光協会 ☎(62)7155

県民カレッジ 「防災学習講座」

県民カレッジでは、一人一人が防災意識を高め、学んだことを地域の活動に生かすため、地域防災のあり方に関する講座を開催します。この機会に防災知識を高めてみませんか。

- ▼とき 9月30日(火)午後2時〜4時
▼ところ 那須町文化センター小ホール(那須町大字寺子乙2567・10)
▼対象 県民
▼内容
○講演：「那須地区における気象の特性と災害への備え」
○講師 永田俊光氏(宇都宮地方気象台火山防災官)
○事例発表：「なす高原自然の家における防災キャンプについて」
・発表者 島山正敏氏(なす高原自然の家副主幹)
▼参加費 無料
▼申込期限 9月22日(月)
▼申し込み・問い合わせ 那須教育事務所ふれあい学習課
☎0287(23)2177

国際医療福祉大学 TOEIC公開講座

TOEIC(国際コミュニケーション)英語能力テスト)公開講座を実施します。

- ▼とき 10月8日から11月5日までの毎週水曜(全5回)
○Aクラス 午後6時〜
○Bクラス 午後7時〜
▼ところ 国際医療福祉大学大田原キャンパス(大田原市北金丸2600・1)
▼対象 大学生または18歳以上の社会人
▼定員 各クラス50人
▼内容 TOEICテスト新公式問題集VOL.5を使用し、TOEIC受験対策講義を4回行い、最終日はIP(団体受験)テストを実施
▼参加費 8300円(テキスト持参者は5300円)
▼申込方法 大学ホームページからダウンロードできる「申込者記入シート」に必要事項を添えて、FAXまたはメールで申し込み

労働教育講座

労働問題に対する正しい認識と理解を深め、労使関係の安定と勤労者福祉の向上を目的に講座を開催します。

- ▼とき 10月9日(木)午後1時30分〜4時
▼ところ 那須野が原ハーモニホール交流ホール(大田原市本町1・2703・6)
▼定員 100人
※誰でも参加可能。
▼内容 講演「元気な社員がいる会社の作り方」労働使で築く活き活きとした職場」
▼講師 小林秀司氏(社会保険労務士、㈱シェアードパブリック・コーポレーション代表取締役)
▼参加費 無料
▼申込方法 事業所名・所在地・電話番号・氏名を添えて、FAX、メールまたは電話で申し込み

- ▼申込期限 9月30日(火)
※定員になり次第締め切り。
▼申し込み・問い合わせ 大田原労政事務所
☎0287(22)4158
otawara-roj@pref.tochigi.lg.jp
☎0287(24)3000
☎0287(24)3100
☎0287(23)2177
sounmu@iuhw.ac.jp

勤労青少年ホーム講座

Table with 6 columns: 講座, とき, ところ, 定員, 参加費, 申込期限. Rows include おつまみ cafe and ボウリング.

対象 おおむね 40 歳以下の市民または市内勤務者 ※申し込み多数の場合は、抽選などになります。
その他 参加費以外に利用者会費として、1,000 円が必要です
申し込み 勤労青少年ホーム ☎(73)5300 (土・日曜、祝日を除く午後1時～6時30分)
※メールでも可。✉home@nshome.jp (住所、氏名、年齢、電話、職業(勤務地)を記載)
問い合わせ ☎商工観光課 ☎(62)7154

市民大学「宇都宮共和 大学連携講座」(後期)

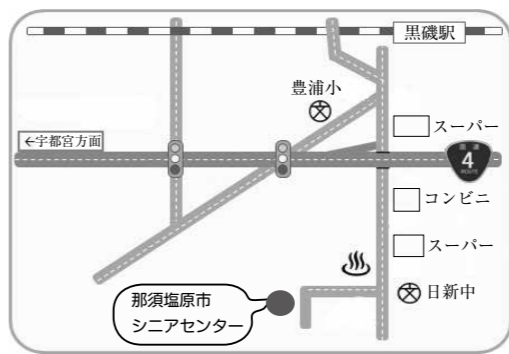
〈対人関係の心理学〉
▼とき 10月10日(金)午後6時30分～8時
▼講師 加藤邦子氏(宇都宮共和大学教授)
〈今どきの家族・いまどきの子ども〉
▼とき 10月17日(金)午後6時30分～8時
▼講師 牧野カツコ氏(宇都宮共和大学教授)
〈共通事項〉
▼ところ 宇都宮共和大学那須キャンパス
▼対象 市内に居住、勤務、通学している人
▼参加費 無料
▼申込方法 氏名・住所・年齢・電話番号を添えて、メール、FAX、はがきまたは電話で申し込み
▼申し込み・問い合わせ 厚生生涯学習課 ☎329・2792
あたご町2・3 ☎(37)5364 FAX(37)5479
shougai@city.nasushibarai.jp

塩原図書館 絵本を楽しむ講座

絵本にまつわる料理を親子で仲良く作ってみませんか。絵本の読み聞かせもありま
す。
▼とき 10月4日(土)午前10時～正午
▼ところ ハロープラザ調理室
▼対象 市民(絵本に興味があり、親子で参加できる人)
▼定員 8組
※定員になり次第締め切り。
▼内容 和のおやつ作り(団子など)、絵本の読み聞かせ
▼参加費 400円程度(材料費)
▼申込開始 9月16日(火)
▼申し込み・問い合わせ 塩原図書館 ☎(48)7521

マシントレーニング

▼とき 12月1日～来年3月16日の毎週月・木曜(全28回)
▼内容 体力測定、マシン運動など
▼定員 午前・午後の部各8人
〈共通事項〉
▼実施時間
○午前の部：9時30分～11時
○午後の部：2時30分～4時
▼ところ 市シニアセンター



▼対象 65歳以上で介護保険認定を受けていない市民
▼参加費 1回300円
▼その他 送迎は希望者のみ行います
▼申込期限 10月31日(金)
▼申し込み・問い合わせ 市シニアセンター ☎(73)2210

市総合防災訓練を実施します

災害に強いまちづくりを推進するため、関係機関や自主防災組織などと連携した総合防災訓練を実施します。
▼とき 9月27日(土)午前9時30分～正午
▼ところ 那珂川河畔運動公園



土のうの作り方や積み方を教わる参加者(昨年)
▼問い合わせ 総務課 ☎(62)7150

第1回市中学校合唱フェスティバル

▼とき 9月13日(土)午後1時～(午後0時30分開場)
▼ところ 黒磯文化会館大ホール
▼入場料 無料
※申し込みも不要。
▼出演団体 黒磯中学校特設合唱部、黒磯北中学校音楽部、厚崎中学校合唱部、日新中学校音楽部、東那須野中学校音楽部、高林中学校合唱部、三島中学校合唱部、西那須野中学校合唱部
▼問い合わせ 黒磯文化会館 ☎(63)3219

地域自立支援協議会「ふれあい懇談会」

障害のある人やその保護者が日頃感じていることなどについて、さまざまな立場の人との交流を行うための「ふれあい懇談会」を開催します。
※地域自立支援協議会とは、障害者団体の関係者などで構成され、市障害福祉施策に対するさまざまな提案などを行う協議会です。
▼とき 9月19日(金)午後1時30分～3時30分
▼ところ ☎301・303 会議室
▼対象 就労意欲のある人で就労継続支援事業(A・B)、就労移行支援事業を利用している人(障害の有無に関わらず、興味のある人の参加も受け付けています)
▼定員 35人
※定員になり次第締め切り。
▼申込方法 氏名・住所・電話(FAX)番号を添えて、電話またはFAXで申し込み
▼申し込み期限 9月17日(水)
▼申し込み・問い合わせ 地域自立支援協議会(☎) 社会福祉課内 ☎(62)7026 FAX(63)8911

黒磯地区スポレク祭 シャフルボード交流会

シャフルボードは、円盤を木製の杖で細長いコート上に押し出し、コート内に描かれた得点区域に多くのディスクを留めることで点数を競うニュースポーツです。
▼とき 9月20日(土)正午～午後4時
▼ところ しろいそ運動場武道館剣道場
▼定員 32人
▼内容 シングルス(4フレーム制)
▼参加費 200円
▼その他 当日午前中に行われるスポレク祭で体験可能
▼申し込み 国スポーツ振興課 ☎(37)5439
※当日の申し込みも可能。

おしばいとおはなし「差別と戦争をなくすために」

▼とき 9月23日(祝)午後2時開演(午後1時30分開場)
▼ところ 那須野が原ハートホール小ホール(大田原市本町1・2703・6)
▼内容 水上勉 原作 一人芝居「釈迦内極唄」ダイジェスト版の上演、田中暢原作ミュージカル「ロラマシン物語」より、ひとり語りなど(オープニングに非電化工房代表・藤村靖之氏のチェロ演奏)
▼講師 有馬理恵氏(劇団俳優座所属)
▼入場料 無料
※事前申し込み不要。
▼問い合わせ 那須野が原・九条の会事務局(印南) ☎080(5174)3647 国生涯学習課 ☎(37)5419

「法の日」司法書士 無料法律相談

▼とき 10月1日(水)～7日(火) 午前9時～午後5時(土・日曜を除く)
▼ところ 市内の各司法書士事務所
▼相談内容 登記、供託、訴訟、成年後見(高齢者の財産管理)、多重債務など
※事前申し込み不要。
▼その他 特設会場(宇都宮市・佐野市)や、他市町の司法書士事務所でも相談を受け付けていますので、詳しくは問い合わせてください。
▼問い合わせ 県司法書士会 ☎028(614)1122
※相談内容については、各司法書士事務所へ直接問い合わせてください。

第10回 県北社交ダンス交流会

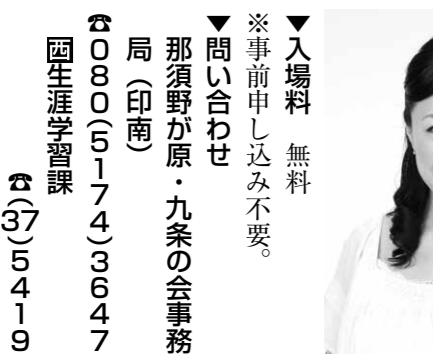
誰でも参加できる交流会です。当日参加も可能です。
▼とき 10月12日(日)午後6時～9時
▼ところ にしなすの運動公園体育館メインアリーナ
▼参加費 千円
▼申し込み・問い合わせ 那須塩原ダンス部(鈴木) ☎(36)5222

市域自立支援協議会(☎)

社会福祉課内 ☎(62)7026 FAX(63)8911



シャフルボード体験を楽しむ子どもたち
▼問い合わせ 市レクリエーション協会 ☎090(3474)1659



9月の納税
9月30日(火)が納期限です
●国民健康保険税 第3期
●後期高齢者医療保険料 第3期
●介護保険料 第3期
～納税は便利な口座振替で～

北那須浄化センターのこぼい

下水道に関する展示や楽しい催し物がいっぱいあります。

▼とき 9月27日(土)午前9時～正午(午前11時30分までに受け付け)

▼ところ 北那須浄化センター(大田原市宇田川1790・1)

▼内容 下水道PRポスター展および表彰式、浄化センター施設見学、下水道水洗化コーナー、水質試験にチャレンジ、ミニSL運行、スタンプリリー、ヨーヨー風船つり、ポップコーン配布、那須野ヶ原疏水太鼓の演奏

※各種イベントの参加者に記念品を用意しています。

▼問い合わせ

北那須浄化センター ☎0287(28)2277

市内では、東那須野地区、西那須野地区、箒根地区の汚水が北那須浄化センターで処理されているんだよ。



よささウォーク2014

那須高原の秋風に触れ、稲穂の香りと川のせせらぎに耳を傾けながら、家族や友だちと一緒に「余笹川」をウォーキングしませんか。

▼とき 9月28日(日)午前9時スタート(午前8時30分受け付け開始)

▼ところ 余笹川ふれあい公園(那須町大字寺子乙2584・6)

▼コース 5km、10km、20km

▼参加費 無料

※事前申し込み不要。



昨年は天気も良く、気持ちの良いウォーキングでした

▼問い合わせ 余笹川流域連携ネットワーク事務局(福田) ☎090(8726)8318

美味しい・上手い、なすしおぼら感謝祭

西那須野商工会では、「美味しい・上手い、なすしおぼら感謝祭」を開催します。

市民グループによるダンス・音楽などをはじめ、さまざまなイベントを企画しました。

また、旅行券や西那須野共通商品券など豪華賞品が当たる「抽選会」も行います。抽選補助券10枚で1回くじが引けますので、来場の際は忘れずにお持ちください。

▼とき 9月28日(日)午前10時～午後3時

▼ところ 西那須野支所庁舎前広場



たくさんの人でにぎわった昨年の感謝祭

▼問い合わせ 西那須野商工会 ☎(36)0697

海浜の旬

さんまかつじまいも

▼とき 10月25日(土)・26日(日)(1泊2日)

▼ところ とちぎ海浜自然の家

▼定員 県民約2000人

▼内容 県民約2000人

○選択活動①:さんまの干物づくり体験と創作活動

○選択活動②:さんまの網焼き、試食体験と塩づくり活動

○自由活動:ナイトハイク、創作活動、スポーツ館活動など

○全体活動:さつまいも掘り体験とつば焼きいもの試食

▼参加費

○大人 5500円

○高校生 4000円

○中学生 3300円

○小学生 3100円

○3歳以上就学前2300円

○3歳未満 300円

※選択活動のさんま代、1日目の夕食の特別食、2日目の昼食を希望した場合には別途料金が加算されます。

▼申込方法 郵便番号・住所・電話番号・代表者および全参加希望者の氏名・年齢(学年)を添えて、はがき、FAXまたは電話で申し込み

電話番号・代表者および全参加希望者の氏名・年齢(学年)を添えて、はがき、FAXまたは電話で申し込み

個人住民税の特別徴収義務者への一斉指定に伴う説明会

事業主の皆さんに、従業員に毎月支払う給与から個人住民税を特別徴収(給与天引き)して納入してもらうため、平成27年度から個人住民税特別徴収義務者への県内一斉指定が実施されます。

これに伴い、那須地区では、那須塩原市・大田原市・那須町の3市町合同で、次のとおり説明会を開催します。都合のつくところで、出席してください。

▼対象 新たに特別徴収義務者に指定となる事業所

▼会場・日時 ○大田原市総合文化会館(大田原市本町1・3・3) 10月7日(火) ①午後3時～4時30分 ②午後7時～8時30分

○黒磯文化会館 10月8日(水)午前10時～11時30分

○三島ホール 10月8日(水)午後2時～3時30分

○那須町文化センター(那須町大字寺子乙2567・10) 10月15日(水)

▼問い合わせ 畜産草地研究所那須企画管理室連絡調整チーム ☎(37)7005

夏秋イチゴ「なつおとめ」栽培説明会

なつおとめは、7月から11月にかけて収穫できる甘みと酸味が特徴のイチゴです。これまでは、比較的冷涼な標高の高い地域を中心に栽培されてきましたが、高温対策を十分行うことで、標高の低い地域でも栽培できるようになりました。

販売を目的とした栽培を希望する人を対象に、栽培説明会と現地見学会を開催します。また、市の補助事業についても併せて説明します。

▼とき 10月23日(木)午後1時30分～4時

▼ところ ハロープラザ

▼対象 販売を目的とした栽培を希望する人

▼内容

①栽培説明会:品種特性や栽培条件、補助事業など

②現地見学会:生産者による栽培状況の説明

※ほ場への移動は各自対応となります。

▼申し込み・問い合わせ 那須農業振興事務所園芸課 ☎0287(22)2826

☎0287(22)2826

☎(62)7147

☎(62)7147

☎(62)7147

畜産草地研究所 公開デー

①午前10時～11時30分 ②午後2時～3時30分

※説明会には、特別徴収義務者への指定予告通知(9月中旬送付予定)に同封の「特別徴収の事務手続き」を持参してください。

※各会場とも座席に限りがあります。

※事前申し込み不要。

▼問い合わせ ☎(62)7121

☎(62)7121

▼問い合わせ ☎(62)7121

▼とき 10月4日(土)午前10時～午後3時(雨天決行)

▼ところ 畜産草地研究所那須研究拠点

▼内容 研究内容の紹介、農業機械展示、牛肉の試食、顕微鏡観察教室、バター・チーズ作り、クイズラリーなど

▼入場料 無料

※事前申し込み不要。

▼問い合わせ 畜産草地研究所那須企画管理室連絡調整チーム ☎(37)7005

☎(37)7005

▼ところ 南公民館

▼対象 事故当時、県北地区(那須塩原市・大田原市・那須町)に住民票を有していた人または居住していた人

※その後、避難などで転出した人を含みます。

▼その他 ○詳細は説明会で説明します ○以後も、県北の各地域で説明会を開催する予定です ○申し立て用申込書を会場配布します(10月以降は各公民館・図書館にも設置されます)

7月の火災と救急

Table with 2 columns: 火災 (建物2件, 林野0件, その他0件, 26年の累計64件) and 救急 (交通事故38件, 急病257件, その他94件, 26年の累計2,600件)

火災のテレフォンサービス ☎0180-992009(黒磯地区) ☎(22)0119(西那須野・塩原地区)

身近な疑問・問題について一緒に考え、 解決への交流を通して深まる"絆"



↑避難者を招いた交流会で、津軽三味線の力強い音色が会場に響き渡りました



↑フォーラムでは毎回異なるテーマを取り上げます



↑生活学校のメンバーによるマイバッグ啓発活動
(市内のスーパーにて)

なすしおばら **げんきひと** 元気人 No.5

～輝き続ける元気な人たち～

2011年の福島第一原子力発電所事故後は、避難者のサポートを中心とした福島復興支援活動にも取り組んでいます。避難者の人たちは、避難による生活環境の変化によって、仕事・家庭・住居環境など、日常的な悩みを抱えがちです。そうした問題を生活学校という枠組みの中で支援できないか、と考えたのがきっかけでした。

主な支援活動として、避難者宅へ

市生活学校は、現在77人のメンバーが活動しています。これまで、朝食の大切さ、季節や伝統にちなんだ行事食の継承、3R(リユース・リデュース・リサイクル)運動の推進やレジ袋の削減といった環境問題など、消費生活の幅広いテーマに関して活動してきました。

生活学校とは、女性を中心に身近な暮らしの中の問題について考え、企業・行政・団体などと話し合いながら、実践活動の中でその問題を解決していく組織です。今回は、市生活学校で会長を務める大内さんに話を伺いました。



おうちやすこ
大内康子さん

～プロフィール～

県生活学校連絡協議会会長、市生活学校会長を務めており、地域に根ざした幅広いコミュニティ活動などを行っている。長年の活動の功績が認められ、7月9日にあしたの日本を創る運動推進功労者「内閣官房長官賞」を受賞。

の訪問活動、レクリエーションゲームなどの交流会を行い、避難者の悩みの解決に努めてきました。さまざまな活動を通して、互いの理解や絆を深めることで得られる達成感が、今まで取り組んできたコミュニティ活動の原動力になっています。

普段の生活の中で「不便だな」とか「なぜだろう」と感じることはありませんが、こうした疑問を大切にし、それについて考え、解決していくことが生活学校の役目です。今後は、この活動を自治会や地域のコミュニティといった枠組みに広げて、みんなで地域に根ざした問題解決に取り組んでいきたいと思っています。

共生生活課

問い合わせ

☎0287(62)7126

